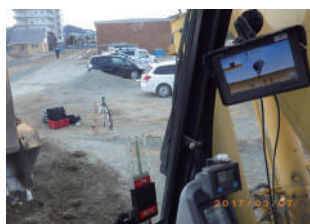


## 導入事例のご紹介

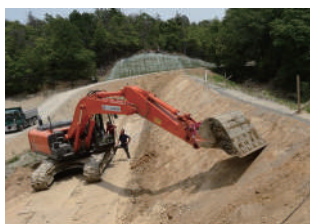
### 1. 床付け工事



測量作業の度にショベルを止めて確認していたため時間がかかっていました。

→精度・効率ともに効果がありました。掘削現場に立ち入る頻度が減り、安全面でも有効です。

### 2. 法面工事



オペレーターの教育に時間をとられ、特に法面工事は側で付き添わなければなりませんでした。

→法面の正面切りが非常に簡単に作業できました。とくに法切りは経験の浅いオペレーターでも遜色ない精度とスピードを実現しました。ジャイロ搭載により車両を旋回し斜め切りすることも可能で、著しく作業性が向上しました。

### 3. 地盤改良工事



5m 前後の深さで精度 2cm を求められ、測量に費やす時間が甚大でした。

→測量時間が最小限に抑えられました。車両が傾いてもチルトセンサーによって補正されるため、常に安定した精度を実感できました。

### 4. 住宅基礎工事



最近施工精度が厳しくなり荒掘削、碎石敷布時にも精度が要求されるようになりました。1人での作業が多く、特に寒冷地では 40 cm 程度深く基礎を打つ必要があり掘削高の確認や乗り降りが大変でした。

→キャビンにいながら刃先の高さを正確に測ることができ、スムーズな作業が可能になりました。レーザーモードでは施工現場を自由に移動でき作業効率もあがりました。